令和5年度の取組実績・令和6年度の取組予定

# 令和5年度の取組実績

# 【旭川開発建設部】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(旭川開発建設部) 短期 長期 中期 項目 (R3~R7) (~R12) (R13~) 【河川事業】 河道掘削、河床低下対策 (旭川市街地) 【河川事業】 河道掘削、堰改築、侵食対策 (美瑛川中下流部等) 【河川事業】 河道掘削、堤防整備等 (上流部) 【直轄火山砂防事業】 砂防堰堤等 (十勝岳) 【直轄火山砂防事業】 砂防堰堤等 (石狩川上流) 【直轄火山砂防事業】 流域流木対策 (治山事業による森林整備 事業と調整) 【国営農業事業】 農地再編整備事業

#### R5年度の取組内容

#### 河川事業





#### 直轄火山砂防事業

十勝岳流域流木対策の取組みに着手







#### 国営農業事業

農地の大区画化及び畦畔の整備。 (整地工による農地の切り盛り状況)





# 【利水ダム】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

令和5年8月4日~8日の前線に伴う大雨では、治水協定に基づき、利水ダムの空き容量を活用した洪水貯留を実施。※ 各ダム下流河川の水位低減に寄与したものと考えられる。



#### 令和5年8月4日~8月8日の主な洪水貯留の実績

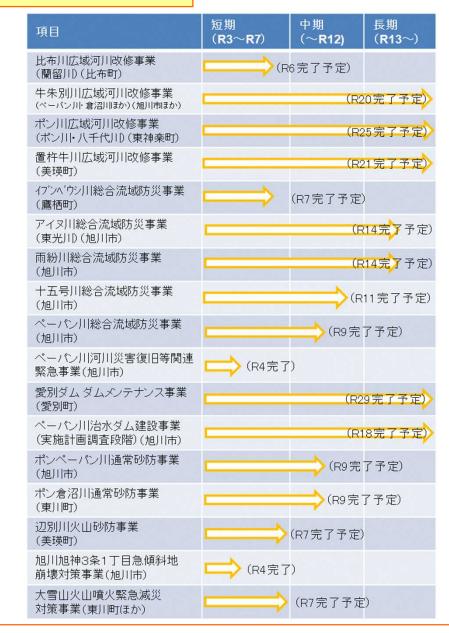
ダム名	所管省庁	ダム管理者	貯留量 (千m3)
ペーパン	農林水産省	旭川市	1,481
当麻	農林水産省	当麻 土地改良区	920
神居	農林水産省	旭川市	2,422
新区画	農林水産省	美瑛川地区 土地改良区連合	143
しろがね	農林水産省	美瑛町、上富良野町、中富良野町 町、中富良野町 (美瑛町)	0
石狩川上流		計	4.966



※事前放流等により確保すべき容量が利水等により既に確保されていたため事前放流は実施せず

### 【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(旭川建設管理部)



#### R5年度の取組内容

過年度から引き続き、河道掘削等を推進する。



ペーパン川 施工中筒所(護岸工)



倉沼川 施工完了箇所(掘削工)

### 【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

### 計画表(上川総合振興局産業振興部整備課(整備課・上川中部整備室)) 短期 長期 中期 項目 (R3~R7) (R13~) (~R12) 農業農村整備事業 (農地の整備・ため池等の整備) 農地整備事業(忠別北地区) 農地整備事業(兵村北地区) 農地整備事業(北成地区) 農地整備事業(東1地区) 農地整備事業(忠別南地区) 農地整備事業(拓進地区) 農地整備事業(旭正北中央地区) 農地整備事業(永山西第1地区) 農地整備事業(鷹栖南地区) 農地整備事業(旭正南第1地区) 農地整備事業(忠栄地区) 農地整備事業(朗根内地区) 田んぼダムの広報

#### R5年度の取組予定

#### 農業農村整備事業

農地の整備による貯留機能向上(田んぼダムの取組の基盤を整備) 農地整備事業において、水田の畦畔や落ち口を整備することにより、 水田の貯留機能の向上をはかる。

#### 田んぼダムの取組に関する広報

関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

#### R5年度の取組内容

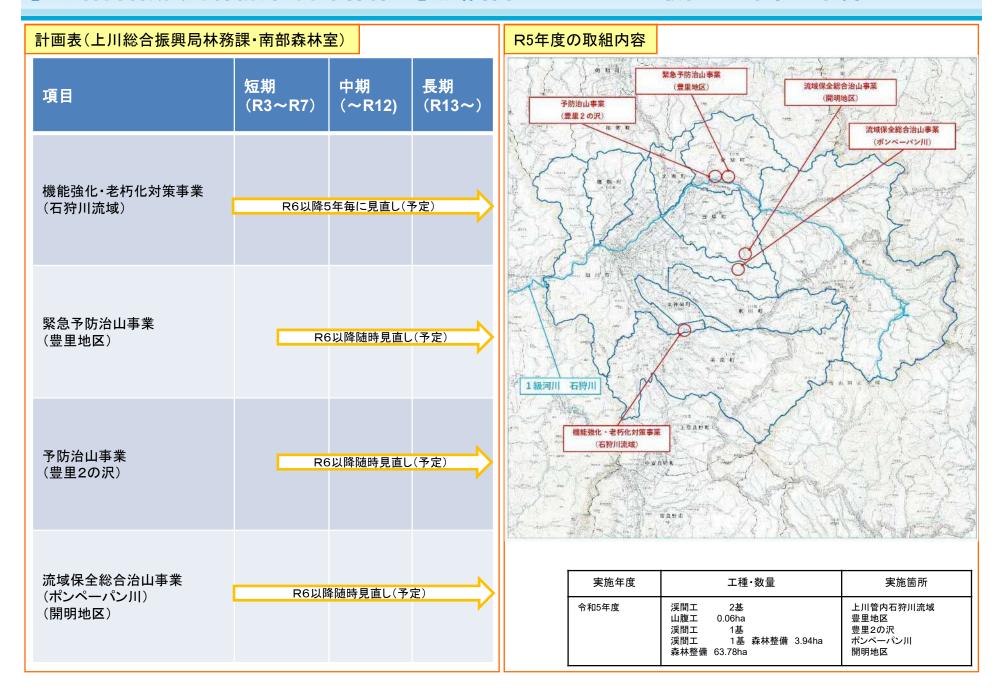
#### 農業農村整備事業の実施

上川中部整備室において、農地整備事業を実施し、田んぼダムの取組となる基盤を整備した。

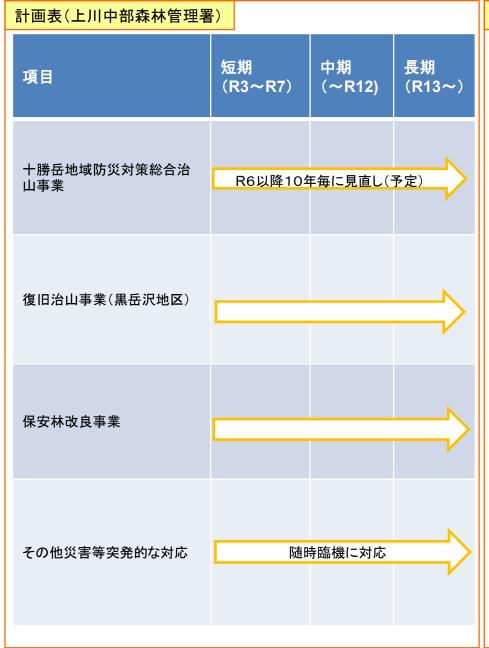




### 【上川総合振興局林務課・南部森林室】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~



### 【上川中部森林管理署】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~





# R5年度の取組内容(工事箇所写真)







# R5年度の取組内容(砂防事業と連携した流域流木対策)

美瑛川(十勝岳 白金地区)において、砂防事業と治山事業の連携による流木災害の防止・軽減を目的に、流域流木対策を推進する。具体的には、事業間連携により、流木発生の抑制や流木の捕捉等に係わる横串を通した計画を策定し、一体的に事業を実施することで、流域全体の流木被害を防止、軽減します。

### 美瑛川(石狩川水系・北海道美瑛町)[流域流木対策箇所]

■石狩川上流における流域流木対策の取組事例

#### 直轄砂防と治山事業が連携した流木対策の実施

全国で展開している流域治水プロジェクトのうち、石狩川上流流域治水プロジェクトでは、直轄砂防事業と治山事業が連携した流域流木対策の取組を推進をすることとしています。流域流木対策の取組とは、各流域において想定される発生流木量及び流木対策整備量を計画段階で調整し、各々が流木対策を実施していくものです。



#### 過去の災害発生時の状況

大正15年噴火により、大規模な融雪型火山泥流が発生。

死者•行方不明者:美瑛村(当時)7名、上富良野村(当時)137名、計144名





#### 事業連携による成果

石狩川水系美瑛川では、令和4年度から砂防事業と治山事業が連携して効率的に流木対策を実施する全国初のモデル地区になりました。砂防事業と治山事業が連携してそれぞれの事業を一体的に実施することで、効率的に対象流域における流木被害を防止・軽減していきます。

(令和5年度の取組状況)

#### 砂防事業

•令和5年度 流木対策施設検討

#### 治山事業

・令和5年度 次期計画により事業検討



### 【国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター北海道水源林整備事務所】 流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(森林整備センター北海道水源林整備事務所)

項目	短期 (R3~R7)	中期 (~R12)	長期 (R13~)
水源林造成事業			

#### R5年度の取組予定

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林の うち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が 見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整 備することにより、森林の有する公益的機能の高度 発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を 計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の 繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出 量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・石狩川流域における水源林造成事業地は、約70箇 所(森林面積 約8千ha)であり、流域治水に資す る除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

#### R5年度の取組内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策 森林整備 間伐実施







間伐実施前

間伐実施後

### 【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### ■令和5年度 取組内容

・ 気象情報が自治体等の防災活動の支援となるよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利 活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

#### 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

#### ◆防災気象情報の利活用推進

#### ■上川-留萌管内防災連携TV 令和5年8月~

旭川地方気象台では、令和3年12月から市町村等を対象にZoomによる 気象解説を実施している。令和5年8月からは『上川・留萌管内防災連携 TV』として、週一回の定期開催と、警報級の可能性が高まった時などの臨時 開催とし再スタートした。上川・留萌各(総合)振興局及び旭川・留萌各開 発建設部との5者連携・協力とし、平時から上川・留萌管内市町村へ気象 等解説や情報共有を行なう場となっている。「顔の見える関係」の構築・深化 を図るとともに、緊急時における地域の防災対応に資することを目的としている。

8月2日に実施した臨時開催の様子(イメージ)



#### ■市町村との大雨事例振り返り

令和5年10月

令和5年8月3日から6日にかけて、停滞前線の影響により上川・留萌地方の広い範囲で大雨となり、特に、5日から6日にかけて、上川・留萌地方ではまとまった雨が降り、降り始めからの総降水量が8月の平年の一か月の降水量を超えた地点もあった。このことから、気象台の発表する防災気象情報の今後の



改善等を目的に、当時の気象状況や自治体における防災対応等の振り 返りを複数市町村と行なった。

#### -令和6年度に向けて-

引き続き、「市町村との顕著事例振り返り」「上川・留萌管内防災連携TV」「気象防災ワークショップ」を行ない、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の取組を進める。

非常災害時には自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探る

# 【旭川市】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(旭川市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		$\Rightarrow$
下水道事業による浸水対策	継続		$\Rightarrow$
安全・安心な避難のための事前の備え	検討 モデ	ル地区拡充	を検討

#### 田んぼダムの活用

- ・田んぼ5,680ha(作付面積)のうち、3,387haを田んぼダムとして活用しています
- ・今後は更に拡大をはかっていきます

#### 安全・安心な避難のための事前の備え

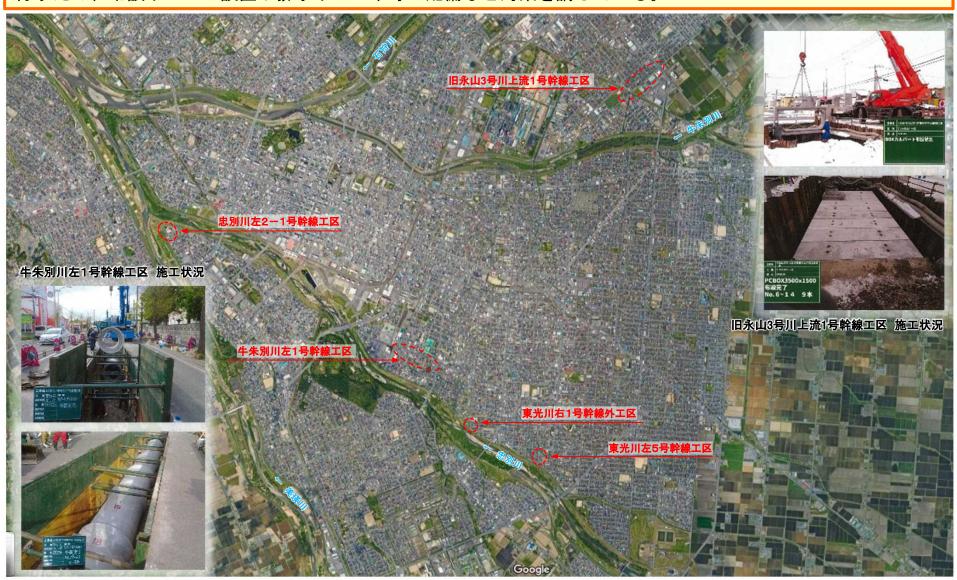
- ・安全で安心できる地域づくりを進めることを目指す「逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト」を令和4年度から開始し、当市で設けている地域まちづくり推進事業負担金制度を活用し、地域住民自らが主体となって「地区防災会議」を立ち上げ、地域の実情に応じた地区防災計画を作成を進めている。
- ・令和5年度は確定した地区防災計画に基づき,市民参加型の防災訓練を実施し,防災知識の普及啓発と防災意識の高揚を図ったほか,避難行動要支援者の個別避難計画の作成等を進めている。また,新たに2つの地域で「地区防災会議」を立ち上げた。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(旭川市)

項目	取組予定	
<b>代日</b>	取組内容	
マイタイムラインの作成の促進	・防災講習等を通じてマイタイムラインの周知や 作成の支援をする。	
マイダイムフィンのTF成の促進	・防災講習等の際に、マイタイムラインの周知や 作成についての支援を行った。	
確実な避難行動の実施	・要配慮者利用施設のうち、避難確保計画未作成の施設に対して、作成し報告するよう関係機関と連携し、報告を促す。	
(要配慮者利用施設)	・新規の要配慮者利用施設及び避難確保計画 未報告の施設に対して、作成し報告するよう通 知した。	
ハギードマップの利用促進	・講習会等を通じて市民へ周知する。 ・洪水ハザードマップの活用を含め、避難判断・ 行動方法の普及啓発に取り組む。	
ハザードマップの利用促進	・講習会等を通じ市民への周知等に取り組んだ。 ・経年によるハザードマップ修正についてのチラ シを作成、配布した。	
	・関係機関と連携し、防災教育の支援を行う。	
防災教育の徹底	・1校の小学校において1日防災学校を実施した。 ・地域における講習会など様々な機会を捉え、 水防災に関する意識啓発を実施した。	
ハザードマップ対象外地区の対応	・講習会等を通じて「旭川市浸水想定区域図空 白地」の周知を図った。	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・講習会等を通して、道の新たな浸水想定区域の 指定があり、マップ作成はR7年度予定と周知した。	

# 【旭川市】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

旭川市では、「旭川市公共下水道事業計画」に基づき雨水幹線の整備を実施。大雨等の浸水実績を踏まえ浸水被害が頻発している地域から順次整備し浸水被害の軽減を図る。また、内水排除の初動対応を迅速・確実に行うため、常設ポンプの設置や排水ポンプ車等の配備など対策を講じている。



# 【鷹栖町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(鷹栖町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
雨水貯留、浸透施設		水不全等 改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		$\Rightarrow$
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	<u> </u>

#### 田んぼダムの活用

- 田んぼ2,240 ha(作付面積)のうち、2,240haを田んぼダムとして 活用しました。
- ・今後は、更なる規模拡大に加え、水田センサーや自動給水装置 なども活用した効率的な防災の取組みを検討します。





#### 減災対策協議会における「取組方針」(鷹栖町)

項目	取組予定	
<b>祝口</b>	取組内容	
マイタイムラインの作成の促進	・住民による作成サポートを検討。	
マイダイムフィンのTFIXの促進	<ul><li>・広報誌特集記事で防災アプリを使ったマイタイムラインの作成について掲載した。</li></ul>	
確実な避難行動の実施	・該当無し (今後、該当施設が確認された場合は、避難確 保計画策定の支援を実施する。)	
(要配慮者利用施設)	・該当無し	
ハザードマップの利用促進	<ul><li>まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。</li></ul>	
ハッ ドマククの作品 促進	•検討中	
防災教育の徹底	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施 予定。	
防災教育の徹底	・1日防災学校における講和を実施	
ハザードマップ対象外地区の対応	・対象外となっている地区(河川)について、関係機関及び地域住民との情報共有を行う。	
	・想定外の雨量も想定されることから、町全体または地区全体で防災への取り組みを実施。	

# 【東神楽町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(東神楽町)

項目	短期 中期 長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大 継続
自然地保全	適宜
雨水貯留、浸透施設	既存施設が排水不全等の確認の改善継続
下水道事業による浸水対策	適宜
土地利用(立地適正化計画、災害 危険区域指定等)	適宜
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施の判断実施

#### 田んぼダムの活用

・田んぼ1,250 ha(作付面積)の うち、1,138haを田んぼダムとし て活用しています。

※国営緊急農地再編整備事業と の連携を強化し、田んぼダムの 取り組みを推進し、今後は更に 拡大をはかっていきます



8月6日 降雨時大型ほ場状況確認

#### 減災対策協議会における「取組方針」(東神楽町)

"从人人,不以此段五下65·17·6·4次间27至17(不1千个17)		
項目	取組予定	
<b>祝口</b>	取組内容	
マイタイムラインの作成の促進	マイタイムライン作成の促進、取組検討を行う。	
イイグイムプインの作成の促進	住民等による作成に向けた支援内容を検討。	
	令和5年度から、全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定に向けて取り組みを検討。	
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	地域防災計画の改訂を作業中。 ハザードマップの改定により想定最大規模にお ける浸水想定区域内の要配慮者利用施設の特 定作業を行った。	
	必要に応じてまるごとまちごとハザードマップの 更新を検討する。 令和5年度は3Dハザードマップを稼働予定。	
ハザードマップの利用促進	ハザードマップを更新改定し、印刷物を全世帯へ配布を行った。(令和5年4月策定)統合型GISを利活用した2次元ハザードマップの職員利用開始、3Dハザードマップは住民等への解りやすい可視化説明に利用並びに職員等の防災シミュレーションに利活用している。	
	関係機関と連携し、計画的に出前講座等を実施 予定。	
防災教育の徹底	町内小学校を対象に上川総合振興局危機対策室による1日防災学校、旭川地方気象台による防災講演及び町総務課により町内関係機関に防災教育を実施した。	
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップの更新にあわせて対応予定。	
	ハザードマップ対象外地区はない	

# 【当麻町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(当麻町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	\ E

#### 田んぼダムの活用

- ・取組拡大のためにPRを実施し、中央5区及び北星区に田んぼ ダムの取組を追加・拡大 843ha→1,391ha(548ha増)
- ・作付面積2,590haの内、1,391haを田んぼダムとして活用 なお、中央1区・2区、宇園別、伊香牛は収穫後のそば、大豆田 も田んぼダムとして活用
- ・今後も周知(広報)に取り組み、更なる拡大を目指す。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(当麻町)

項目	取組予定	
<b>坝</b> 日	取組内容	
	・引き続き住民に対するマイタイムラインの作成について普及しつつ、サポート計画に係る立案を検討	
マイタイムラインの作成の促進	・住民に対する研修を実施し、普及 情報(警報・危険水位)や昼夜に応じた避難時 期について普及	
確実な避難行動の実施	・作成した個別避難計画の避難支援者との連携 要領を共有・協議し、実効性を向上	
(要配慮者利用施設)	・真に支援が必要な要配慮者の個別避難計画を 作成。支援者となる団体と情報を共有	
ᇇᄯᅟᆙᄀᇪᅾᇝᆌᄆᄱᄲ	・引き続き住民に対する洪水ハザードマップの活用要領を説明(研修の拡大)	
ハザードマップの利用促進	・町内会(行政区)に対する防災研修で活用要領や避難判断時期・行動を説明 ・転入者にハザードマップを配布	
叶巛並去の体点	<ul><li>・町内会(行政区)に対する防災研修を継続</li><li>・1日防災学校における講話を継続</li></ul>	
防災教育の徹底	・町内会(行政区)への防災教育を継続中 ・町の生涯学習フェスティバルで防災備蓄品を展示し、防災意識を高揚	
ハザードマップ対象外地区の対応	・ハザードマップ空白地での危険箇所の有無の 把握及び対応の検討	
ハッードマツノ対象外地区の対応	・引き続き協議を進める	

# 【当麻町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

当麻町洪水ハザードマップにおいて、役場庁舎一帯も浸水想定区域内となっていることから、<u>広域の応急</u> <u>救援隊等の活動拠点となる地域や熊本地震の教訓であるプッシュ型支援物資の集積・管理の問題を克服する</u> <u>地域を併せて**浸水想定区域外に整備**し、近傍の福祉避難施設、避難施設あるいは仮設住宅予定地域を含め**当 麻町防災拠点として集約、一体化**することにより、防災・減災の効率化・合理化を推進する。</u>

また、物資、資機材を積載するバッテリーフォークリフト、避難所等に運搬する4 t ユニック、停電時でも照明、バッテリーフォークリフトが活用できる非常用発電機を備品として購入し、災害時運用の実効性を向上させる。(令和6年度供用開始予定)

#### 当麻町洪水ハザードマップ





整備状況写真





# 【比布町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(比布町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	E

#### 田んぼダムの活用

- 田んぼ2,000ha(作付面積)のうち、2,000haを田んぼダムとして活用しています(全作付面積対象)
- ・今後は更に拡大をはかっていきます

#### 普通河川の浚渫

・10号沢川の堆積土砂を掘削し流下断面の確保を図った。





#### 減災対策協議会における「取組方針」(比布町)

項目	取組予定	
代口	取組内容	
マイタイムラインの作成の促進	・住民による作成サポート計画を立案予定。	
マイダイムノインのTF成の促進	・マイタイムラインの計画を検討した。	
確実な避難行動の実施	・引き続き避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討する。	
(要配慮者利用施設)	・個別避難計画を検討した。	
	・想定最大規模のハザードマップを作成し、住民 に配布予定。 (ホームページにも掲載)	
ハザードマップの利用促進	・ハザードマップの作製を検討した。	
	・関係機関と連携し、計画的に防災教室を実施 予定。	
防災教育の徹底	·12月 6日 比布中央学校4年生 防災教室 講師·場所 旭川地方気象台 ·12月12日 比布中央学校4年生 防災教室 講師 北海道 場所 中央学校	
ハザードマップ対象外地区の対応	・氾濫計算を実施し、ハザードマップの見直しを検討する。	
・・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ハザードマップの見直しを検討した	

# 【愛別町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(愛別町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	ti

#### 田んぼダムの活用

・作付面積1,465.73haのうち、1,416.2haを田んぼダムとして活用。

#### 普通河川の掘削

・普通河川ポン川の堆積土砂の除去、樹木伐採等を実施した。





#### 減災対策協議会における「取組方針」(愛別町)

項目	取組予定		
<b>次口</b>	取組内容		
	・住民による作成サポート計画案の作成を検討する。		
マイタイムラインの作成の促進	・マイタイムラインの作成促進を引き続き検討。		
確実な避難行動の実施	・警戒レベルを用いた避難勧告等の発令・伝達に着目した避難行動要支援者に対する支援計 画の作成を検討する。		
(要配慮者利用施設)	・避難行動要支援者に対する個別避難計画を作成中。		
	・毎年記載内容を確認し、住民による有効的な活用についても検討を行う。		
ハザードマップの利用促進	・1地区に対し防災訓練及び防災講話会を実施 し、ハザードマップの利用方法について参加住 民に説明した。		
	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。		
防災教育の徹底	・愛別町赤十字奉仕団による研修会に講師として参加し、町の防災備蓄品の詳細や段ボールベッドの組み立て演習を行った。		
ハザードマップ対象外地区の対応	・令和3年度に対象外地区における危険個所を把握済。		
ハッードマツノ対象が地区の対応	・対応済み。		

# 【上川町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(上川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
雨水貯留、浸透施設		*水不全等 )改善	継続
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	<u> </u>

#### 田んぼダムの活用

- ・田んぼ251 ha(作付面積)のうち、103haを田んぼダムとして活用 ています
- ・今後は田んぼダムの拡大に向け、地域住民に対するPR等を実施いきます。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(上川町)

項目	取組予定		
^-	取組内容		
マイタイムラインの作成の促進	マイタイムラインの活用及び設置範囲の拡大。		
マイプイムフィンの IF成の促進	出前講座でのマイタイムラインの活用		
確実な避難行動の実施	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。		
(要配慮者利用施設)	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及 び、職員対象の避難訓練の実施		
ハザードマップの利用促進	ハザードマップの更なる周知や施設への設置範囲の拡大を検討。まるごとハザードマップの作製・設置を検討実施予定。		
ハッードマックの利用促進	転入者へのハザードマップの配布及びハザード マップを用いた出前講座の実施		
防災教育の徹底	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予 定。		
切火教目の100  成	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施		
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップの空白地についての対応検討予 定。		
	ハザードマップの空白地についての対応は引き 続き検討予定		

# 【東川町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(東川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	te

#### 田んぼダムの活用

- 作付面積2,140 haを含め、2,900haを田んぼダムとして活用しています
- ・ 今後は更に拡大を図っていきます

水位調整板を組み合わせて、 落口に設置して水位を調整し、 河川の氾濫危険が高まった 場合に田んぼに貯水して 流量の調整を行っている。







水位調整板 幅220mm×高さ150mm 幅220mm×高さ50mm 幅220mm×高さ25mm

#### 減災対策協議会における「取組方針」(東川町)

項目	取組予定
	取組内容
	R5年度は全自治振興区でサポートを実施予定。
マイタイムラインの作成の促進	マイタイムラインの雛形を作成し、西部地区、第二地区、第三地区自治振興区でサポート実施した。
	避難確保計画策に基づく訓練のサポートを予定。
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	浸水想定区域内の要配慮者施設(10施設)は避 難確保計画に基づき全施設が訓練実施した。 要介護施設、学校において訓練サポートを実施 した。
ハザードマップの利用促進	R5年度以降まるごとまちごとハザードマップを 作成予定。
バッ・ドマックの作用に座	R5年度は未作成であった。 次年度以降に検 計予定
た※教会の物点	R5年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を活用して、教育機関で実施する「1日防災学校」を支援予定。
防災教育の徹底	小学校4校、高校の「1日防災学校」支援
ハザードマップ対象外地区の対応	対象外となっている地区の把握を予定。
	空白地の把握を検討中

# 【美瑛町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### 計画表(美瑛町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	<b>広報+取組拡大</b>	継続	
自然地保全	適宜		$\rightarrow$
雨水貯留、浸透施設		水不全等)改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		$\Rightarrow$
土地利用(立地適正化計画、災害 危険区域指定等)	適宜		<b>-&gt;</b>
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	也———

#### 田んぼダムの活用

- ・田んぼ887 ha(作付面積)
- ・生産調整が図られる中、今後についても作付面積の維持を行い、 周知及び取組みを推進する。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(美瑛町)

項目	取組予定			
~-	取組内容			
マイタイムラインの作成の促進	・令和2年8月更新の「美瑛町防災ガイドブック」にてタイム ラインを掲載し、普及啓発を行う			
マイダイムフインの作成の促進	・「美瑛町防災ガイドブック」の配布、町内会等での防災講座により、普及啓発を行った			
確実な避難行動の実施	・引き続き、避難確保計画をもとに防災活動の普及啓発を行う			
(要配慮者利用施設)	・避難確保計画に基づき、施設職員及び要配慮者が、安全に確実な避難行動ができるよう、普及啓発活動を行った			
	<ul><li>・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討</li><li>・随時、ハザードマップの説明会を実施予定</li></ul>			
ハザードマップの利用促進	・まるごとまちごとハザードマップについては検討中である ・ハザードマップの説明会については、町内会等で防災講 座を活用し、災害に合わせた説明を行った			
防災教育の徹底	・全町民対象の防災教室や町内の学校への防災研修会を 実施する			
切火	・全町民を対象とした防災教室の実施。町内の小中学校 (計6校)にて、防災講座を実施し、防災教育を通して防災 意識の向上が図られた			
ハザードマップ対象外地区の	・対象外となっている地区の対応を検討する。			
対応	・ハザードマップ対象外でも被災する可能性はあるため、 ハザードマップ対象地区の方と同様に、町内会等で防災講 座を行い、防災活動を行った			

# 令和6年度の取組予定

### 【旭川開発建設部】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(旭川開発建設部) 短期 長期 中期 項目 (R3~R7) (~R12) (R13~) 【河川事業】 河道掘削、河床低下対策 (旭川市街地) 【河川事業】 河道掘削、堰改築、侵食対策 (美瑛川中下流部等) 【河川事業】 河道掘削、堤防整備等 (上流部) 【直轄火山砂防事業】 砂防堰堤等 (十勝岳) 【直轄火山砂防事業】 砂防堰堤等 (石狩川上流) 【直轄火山砂防事業】 流域流木対策 (治山事業による森林整備 事業と調整) 【国営農業事業】 農地再編整備事業

#### R6年度の取組予定

#### 河川事業





#### 直轄火山砂防事業

十勝岳流域流木対策の取組みに着手



#### 層雲峡小学校の沢遊砂地



#### 国営農業事業

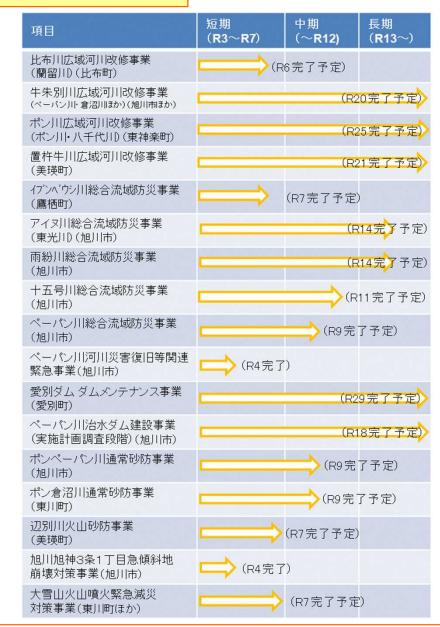
農地の大区画化及び畦畔の整備。 (整地工による農地の切り盛り状況)





### 【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(旭川建設管理部)



#### R6年度の取組予定

過年度から引き続き、河道掘削等を推進する。



倉沼川(旭川市) 施工予定箇所(掘削·護岸工)



八千代川(東神楽町) 施工予定箇所(掘削工)

### 【上川総合振興局】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~



R6年度の取組予定

#### 農業農村整備事業

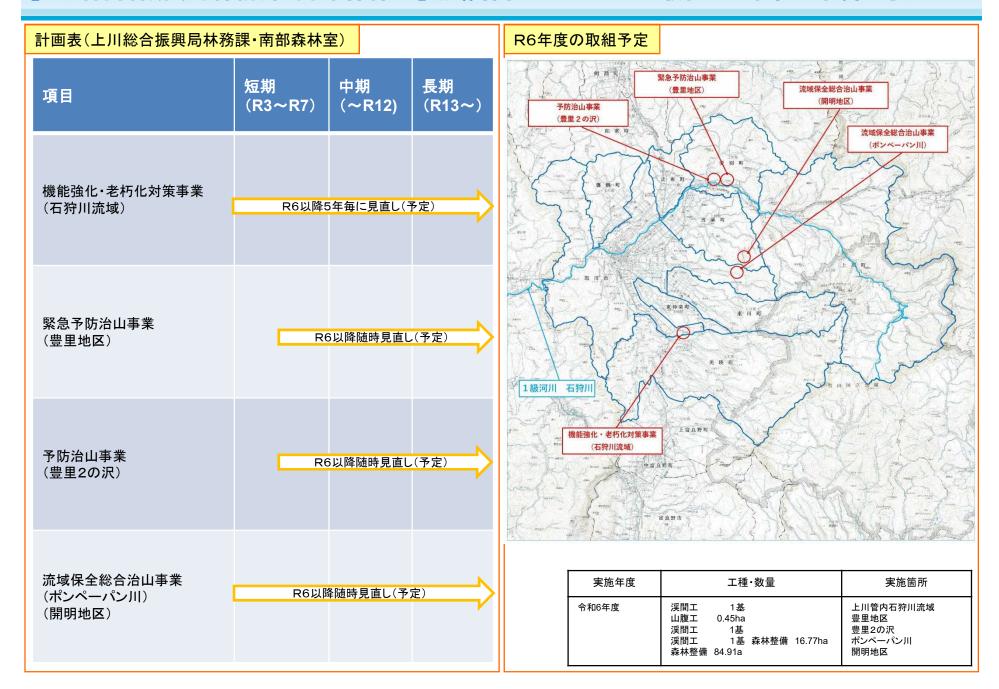
農地の整備による貯留機能向上(田んぼダムの取組の基盤を整備) 農地整備事業において、水田の畦畔や落ち口を整備することにより、 水田の貯留機能の向上をはかる。

#### 田んぼダムの取組に関する広報

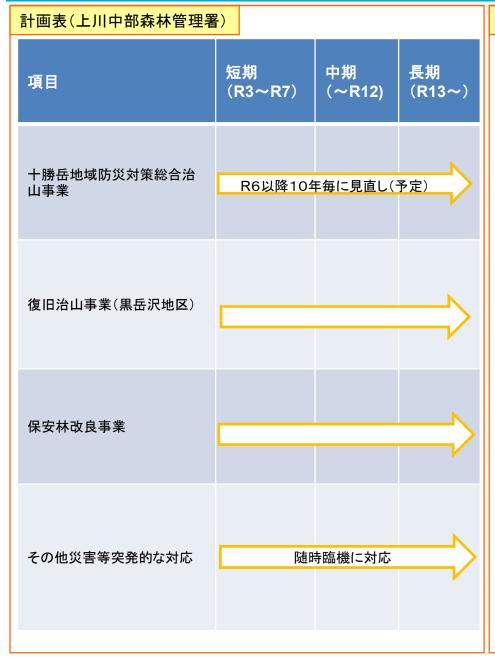
関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

#### R6年度の取組内容

### 【上川総合振興局林務課・南部森林室】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~



### 【上川中部森林管理署】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度~





### 箇所説明(十勝岳)

### 【地域防災対策総合治山事業】北海道 上川郡美瑛町 白金国有林(十勝岳(白金))

#### 【被害状況及び事業の概要】

大正15年の噴火により大規模な泥流が発生し尊い人命が失われるなど下流地域へ甚大な被害を及ぼした。

直近では、平成16年にごく小規模な噴火するなど火山活動は依然として活発化が続いており、早急に火山泥流対策が必要である。

★山地災害危険地区情報:崩壊土砂流出危険地区(B-a1-c2)

★流域治水事業エリア対象:有保全対象:白金温泉街ほか 事業内容:渓間エ(増厚3基) 事業費:440,000千円





### 【復旧治山事業】北海道 上川郡上川町 浮島国有林(68の沢)

#### 【被害状況及び事業の概要】

令和5年8月豪雨により石狩川1級河川上流において、渓流荒廃が発生し渓床内に不安定土砂が堆積した。

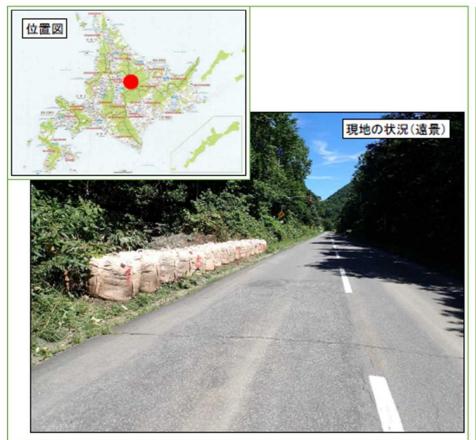
今後の降雨等による不安定土砂の流下防止のため、早急に渓間工による対策が必要である。

★山地災害危険地区情報:崩壊土砂流出危険地区(C-b1-c2)

★流域治水事業エリア対象:有

保全対象:国道

事業内容: 渓間工2基 事業費: 150,000千円





### 箇所説明(サマンペテイネ沢)

### 【復旧治山事業】北海道 上川郡上川町 大函国有林(サマンペテイネ沢)

#### 【被害状況及び事業の概要】

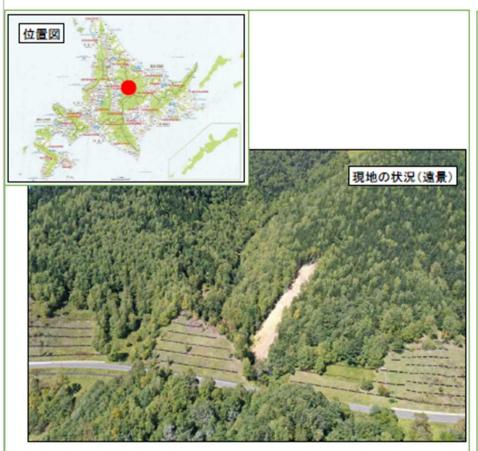
平成28年8月豪雨により石狩川1級河川上流において、渓流荒廃及び渓岸崩壊が発生し渓床内に不安定土砂が堆積した。

今後の降雨等による不安定土砂の流下防止のため、早急に渓間工及び山腹工による対策が必要である。

★山地災害危険地区情報:無
★流域治水事業エリア対象:有

保全対象:国道

事業内容: 山腹工0. 36ha 事業費: 112,000千円





### 箇所説明(黒岳沢)

### 【復旧治山事業】北海道 上川郡上川町 赤岩国有林 (黒岳沢)

#### 【被害状況及び事業の概要】

令和5年8月豪雨により石狩川1級河川上流において、土石流が発生し渓床内に不安定土砂が堆積した。また、既設ダムの袖露出や渓流内にダム袖が残置されている状況で補修及び撤去が必要である。

★山地災害危険地区情報:崩壊土砂流出危険地区(A-a1-a2)

★流域治水事業エリア対象:有保全対象:層雲峡温泉ほか 事業内容:既設渓間工補修等 事業費:80,000千円





# R6年度の取組予定(砂防事業と連携した流域流木対策)

美瑛川(十勝岳 白金地区)において、砂防事業と治山事業の連携による流木災害の防止・軽減を目的に、流域流木対策を推進する。具体的には、事業間連携により、流木発生の抑制や流木の捕捉等に係わる横串を通した計画を策定し、一体的に事業を実施することで、流域全体の流木被害を防止、軽減します。

### 美瑛川(石狩川水系・北海道美瑛町)[流域流木対策箇所]

■石狩川上流における流域流木対策の取組事例

#### 直轄砂防と治山事業が連携した流木対策の実施

全国で展開している流域治水プロジェクトのうち、石狩川上流流域治水プロジェクトでは、直轄砂防事業と治山事業が連携した流域流木対策の取組を推進をすることとしています。流域流木対策の取組とは、各流域において想定される発生流木量及び流木対策整備量を計画段階で調整し、各々が流木対策を実施していくものです。



#### 過去の災害発生時の状況

大正15年噴火により、大規模な融雪型火山泥流が発生。

死者・行方不明者:美瑛村(当時)7名、上富良野村(当時)137名、計144名





#### 事業連携による成果

石狩川水系美瑛川では、令和4年度から砂防事業と治山事業が連携して効率的に流木対策を実施する全国初のモデル地区になりました。砂防事業と治山事業が連携してそれぞれの事業を一体的に実施することで、効率的に対象流域における流木被害を防止・軽減していきます。

(令和6年度の取組予定)

#### 砂防事業

•令和6年度 流木対策施設検討予定

#### 治山事業

・令和6年度 次期計画により事業検討予定



### 【国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター北海道水源林整備事務所】 流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

# 計画表(機関名) 長期 短期 中期 項目 (R3~R7) (~R12) (R13~) 水源林造成事業

#### R6年度の取組予定

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林の うち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が 見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整 備することにより、森林の有する公益的機能の高度 発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を 計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の 繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出 量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・石狩川流域における水源林造成事業地は、約70箇 所(森林面積 約8千ha)であり、流域治水に資す る除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

#### R6年度の取組内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策 森林整備 間伐実施







間伐実施前

間伐実施後

### 【北海道旅客鉄道(株)旭川支社】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(北海道旅客鉄道(株)旭川支社)

項目	短期	中期	長期
大規模水害時の連絡体制の構築	体制構築+継続	t	$\Rightarrow$
重要水防箇所の合同巡視	体制構築+継続	ั้	$\Rightarrow$

### 安全に係る連絡体制の構築

管理施設や周辺の氾濫リスクの高い箇所について、河川管理者と情 報共有するための連絡体制を確認し、継続的な情報共有を行う。

### 重要水防箇所の合同巡視等

#### 「取組方針」

### 安全な運行の確保

令和3年度 石狩川重要水防箇所一覧表

No.	左右岸	築堤名·工作物名	距離標	延長	種別	重要度
52	左岸	新旭川	160.00 ~ 160.20	0.20	水衝・洗掘	A
53	左岸	南永山	160.80 ~ 161.40	0.60	水衝・洗掘	A
54	左岸	南永山	162. 20 ~ 163. 00	0.80	水衝・洗掘	A
55	左岸	南永山	164.00 ~ 164.80	0.80	水衝・洗掘	A
56	左岸	宇園別	171.60 ~ 171.80	0.20	水衝・洗掘	A
57	左岸	中愛別左岸	182, 20 ~ 182, 40	0.20	水衝・洗掘	A
58	左岸	中愛別左岸	185. 00 ~ 185. 20	0.20	水衝・洗掘	A
59	右岸	近文	158.60 ~ 159.00	0.40	水衝・洗掘	A
67	-	77777間	148.00		LIPTO	
68	1-1	江神橋	151.05	1	工作物	A
69	, s=8 [	近文大橋	153. 17	===	工作物	В
70	3-8	第二石狩川橋梁(上り)	155. 32	100	工作物	В
71	1-1	第二石狩川橋梁(下り)	155. 34	1-1	工作物	В
72	, s= ,	旭西橋	155, 71	328	工作物	В
73		新橋	156. 75	and a	工作物	В
74	- 1	旭橋	157. 27	·	工作物	A
75	, === ,	第三石狩川橋梁	168. 61	_	工作物	В
76		愛山橋	188. 5	9 <del>-3</del> 8	工作物	В
77	- 1	第五石狩川橋梁	189. 63	9-0	工作物	A
78	, 12	寿見江橋	193. 1		工作物	В
79	-	愛山渓大橋	195. 33	===	工作物	В
80	-	第六石狩川橋梁	197. 37	9-0	工作物	A
81		上川大橋	197. 41		工作物	В

リスク情報の例 重要水防箇所(旭川開建HPより)

建設年代が古く、桁下余裕高が現在の基準に照らし不足している橋梁(重要水防筒所A(工作物))について、大規模水害時の氾濫リ スクを考慮して、河川管理者・橋梁管理者・地元自治体職員が合同で巡視等を実施。





### 【旭川地方気象台】流域治水プロジェクトの取組 ~令和5年度~

#### ■令和5年度 取組内容

・ 気象情報が自治体等の防災活動の支援となるよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利 活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

#### 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

#### ◆防災気象情報の利活用推進

#### ■上川-留萌管内防災連携TV 令和5年8月~

旭川地方気象台では、令和3年12月から市町村等を対象にZoomによる 気象解説を実施している。令和5年8月からは『上川・留萌管内防災連携 TV』として、週一回の定期開催と、警報級の可能性が高まった時などの臨時 開催とし再スタートした。上川・留萌各(総合)振興局及び旭川・留萌各開 発建設部との5者連携・協力とし、平時から上川・留萌管内市町村へ気象 等解説や情報共有を行なう場となっている。「顔の見える関係」の構築・深化 を図るとともに、緊急時における地域の防災対応に資することを目的としている。

8月2日に実施した臨時開催の様子(イメージ)



#### ■市町村との大雨事例振り返り

令和5年10月

令和5年8月3日から6日にかけて、停滞前線の影響により上川・留萌地方の広い範囲で大雨となり、特に、5日から6日にかけて、上川・留萌地方ではまとまった雨が降り、降り始めからの総降水量が8月の平年の一か月の降水量を超えた地点もあった。このことから、気象台の発表する防災気象情報の今後の



改善等を目的に、当時の気象状況や自治体における防災対応等の振り 返りを複数市町村と行なった。

#### -令和6年度に向けて-

引き続き、「市町村との顕著事例振り返り」「上川・留萌管内防災連携TV」「気象防災ワークショップ」を行ない、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の取組を進める。

非常災害時には自治体等に気象庁防災対応支援チーム(JETT)を派遣し、詳細な気象情報の提供や解説を行い、自治体等の防災活動・応急復旧活動などを支援する。事後には、関係機関とともに「振り返り」を実施し、情報内容や伝達のタイミング・手段などについての改善点を探る。

# 【旭川市】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(旭川市)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		$\Rightarrow$
下水道事業による浸水対策	継続		$\Rightarrow$
安全・安心な避難のための事前の備え	検討 モデ	ル地区拡充	を検討

#### 田んぼダムの活用

- ・田んぼ5,680 ha(作付面積)のうち、3,387haを田んぼダムとして活用しています
- ・今後は更に拡大をはかっていきます

#### 安全・安心な避難のための事前の備え

- ・安全で安心できる地域づくりを進めることを目指す「逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト」を令和4年度から開始し、当市で設けている地域まちづくり推進事業負担金制度を活用し、地域住民自らが主体となって「地区防災会議」を立ち上げ、地域の実情に応じた地区防災計画を作成を進めている。
- ・確定した地区防災計画に基づき、避難行動要支援者の個別避難計画の作成等を進める。
- ・地区防災計画未策定の地域においても、新しく地区防災会議を立ち上げ、地域の実情に応じた地区防災計画を作成する。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(旭川市)

	取組予定
項目	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	・防災講習等を通じてマイタイムラインの周知や 作成の支援をする。
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	・要配慮者利用施設のうち、避難確保計画未作成の施設に対して、作成し報告するよう関係機関と連携し、報告を促す。
ハザードマップの利用促進	・講習会等を通じて市民へ周知する。 ・洪水ハザードマップの活用を含め、避難判断・ 行動方法の普及啓発に取り組む。
防災教育の徹底	・関係機関と連携し、防災教育の支援を行う。
ハザードマップ対象外地区の対応	・ハザードマップの空白域を解消するため、令和7年度のマップ作成に向けて準備を進める。

# 【鷹栖町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(鷹栖町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
雨水貯留、浸透施設		水不全等改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		$\Rightarrow$
土地利用(立地適正化計画、災害危険区域指定等)	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	<u> </u>

#### 田んぼダムの活用

- 田んぼ2,240 ha(作付面積)のうち、2,240haを田んぼダムとして 活用します。
- ・今後は、更なる規模拡大に加え、水田センサーや自動給水装置 なども活用した効率的な防災にも取組みます。





#### 減災対策協議会における「取組方針」(鷹栖町)

項目	取組予定
	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	・防災講習等を通じて防災アプリを使用したマイタイムラインの周知や作成の支援をする。
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	・該当無し (今後、該当施設が確認された場合は、避難確 保計画策定の支援を実施する。)
ハザードマップの利用促進	・住民による有効的な活用についても検討を行う。
防災教育の徹底	・避難所運営訓練や防災講座、1日防災学校を 実施する。
ハザードマップ対象外地区の対応	・想定外の雨量も想定されることから、町全体または地区全体で防災への取り組みを実施。

# 【東神楽町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(東神楽町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	<u>広報+取組拡大</u>	継続	$\overrightarrow{\ \ }$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
雨水貯留、浸透施設		水不全等)改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		$\Rightarrow$
土地利用(立地適正化計画、災害 危険区域指定等)	適宜		$\Rightarrow$

#### 田んぼダムの活用

- ・田んぼ1,250 ha(作付面積)のうち、<u>1,138haを田んぼダムとし</u> て活用しています。
- ※国営緊急農地再編整備事業との連携を強化し、田んぼダム の取り組みを推進し、今後は更に拡大をはかっていきます

#### 減災対策協議会における「取組方針」(東神楽町)

項目	取組予定 取組內容
マイタイムラインの作成の促進	マイタイムライン作成の促進、取組検討を行う。
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	令和5年度から全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定に向けて取り組みを検討。
ハザードマップの利用促進	必要に応じてまるごとまちごとハザードマップの 更新を検討する。 統合型GIS等を利活用したハザードマップの利 用促進を行う。
防災教育の徹底	関係機関と連携し、計画的に出前講座等を実施 予定。
ハザードマップ対象外地区の対応	令和5年度に対応済(対象外地区はなし)。
ハサートマッノ対家外地区の対応	

# 【当麻町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(当麻町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		<b>\</b>
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	E

#### 田んぼダム

- ・田んぼ2,590 ha(作付面積)のうち、1,391haを田んぼダムとして活用しています
- ・今後は更に拡大を目指します

#### 住まい方工夫

・完成した防災備蓄倉庫への 備蓄品移転を早期に完了させ、 災害への対応に備えます



#### 減災対策協議会における「取組方針」(当麻町)

項目	取組予定	
20	取組内容	
マイタイムラインの作成の促進	・防災研修において各地区に応じたタイムラインの一例を提示・説明し、作成について普及・促進を図ります。	
確実な避難行動の実施	・個別避難計画の避難行動要支援者の所在地をゼンリン地図とデータリンク化し、避難行動要支援者情報の共有を容易にします。	
(要配慮者利用施設)		
ハザードマップの利用促進	・引き続き住民に対する洪水ハザードマップの活用要領を説明(研修の拡大)します。	
	・町内会(行政区)に対する防災研修を継続します。	
防災教育の徹底	・1日防災学校における防災講話を実施します。	
ハザードマップ対象外地区の対応	・ハザードマップ空白地における危険箇所の有無の把握に努めます。	

# 【比布町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(比布町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	
自然地保全	適宜		
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	i

#### 田んぼダムの活用

- ・田んぼ2,000 ha(作付面積)のうち、
- 2,000haを田んぼダムとして活用しています(全作付面積対象)
- ・今後は更に拡大をはかっていきます

#### 普通河川の掘削

・普通河川の堆積土砂を掘削し流下断面の確保を図る。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(比布町)

項目	取組予定	
^-	取組内容	
マイタイムラインの作成の促進	・住民による作成サポート計画を立案予定。	
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	・引き続き避難行動要支援者(高齢者、障がい手帳所有者等)に対し、個別に避難計画を作成。 ・避難訓練実施の検討する。	
ハザードマップの利用促進	・想定最大規模のハザードマップを作成し、住民 に配布予定。 (ホームページにも掲載)	
防災教育の徹底	・関係機関と連携し、計画的に防災教室を実施予定。	
ハザードマップ対象外地区の対応	・氾濫計算を実施し、ハザードマップの見直しを検討する。	

# 【愛別町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(愛別町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	ti

#### 田んぼダムの活用

・作付面積1,458.77haのうち、1,416.2haを田んぼダムとして活用予定。

#### 普通河川の掘削

・普通河川の堆積土砂の除去、樹木伐採等を実施予定。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(愛別町)

項目	取組予定
マイタイムラインの作成の促進	取組内容 ・地区防災訓練の際に、防災講話としてマイタイムラインの説明及び作成促進を実施予定。
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	・避難行動要支援者に対する個別避難計画について、引き続き作成を進める。
ハザードマップの利用促進	・地区防災訓練の際に、防災講話としてハザードマップの説明及び利用促進を実施予定。
防災教育の徹底	・関係機関と連携し、出前講座の実施や防災研修の講師依頼があった際に講話を実施予定。
ハザードマップ対象外地区の対応	・令和3年度に対象外地区における危険個所を把握済。

# 【上川町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(上川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	
自然地保全	適宜		
雨水貯留、浸透施設		k水不全等 D改善	継続
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	

#### 田んぼダムの活用

- ・田んぼ251 ha(作付面積)のうち、103haを田んぼダムとして活用しています
- ・今後は田んぼダムの拡大に向け、地域住民に対するPR等を実施いきます。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(上川町)

項目	取組予定	
<b>*</b> -	取組内容	
マイタイムラインの作成の促進	出前講座を用いてのマイタイムラインの活用	
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	避難行動要支援者に対する個別計画の策定及び、それに基づく避難訓練の実施を検討する。	
ハザードマップの利用促進	転入者へのハザードマップの配布及びハザードマップを用いた出前講座実施の継続。まるごとハザードマップの作製・設置等の予算を検討予定。	
防災教育の徹底	関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。	
ハザードマップ対象外地区の対応	ハザードマップの空白地についての対応検討予 定。	

# 【東川町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(東川町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
土地利用(立地適正化計画等)	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	te

#### 田んぼダムの活用

- 作付面積2,140 haを含め、2,900haを田んぼダムとして活用しています
- ・ 今後は更に拡大を図っていきます

水位調整板を組み合わせて、 落口に設置して水位を調整し、 河川の氾濫危険が高まった 場合に田んぼに貯水して 流量の調整を行っている。







水位調整板 幅220mm×高さ150mm 幅220mm×高さ50mm 幅220mm×高さ25mm

#### 減災対策協議会における「取組方針」(東川町)

項目	取組予定
7H	取組内容
マイタイムラインの作成の促進	R6年度は全自治振興区でサポートを実施予定。
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	避難確保計画策に基づく訓練のサポートを予定。
ハザードマップの利用促進	R6年度以降まるごとまちごとハザードマップを 作成予定。
防災教育の徹底	R6年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材等を活用して、教育機関で実施する「1日防災学校」を支援予定。
ハザードマップ対象外地区の対応	対象外となっている地区の把握を予定。

# 【美瑛町】流域治水プロジェクトの取組 ~令和6年度の予定~

#### 計画表(美瑛町)

項目	短期	中期	長期
田んぼダムの活用	広報+取組拡大	継続	$\Rightarrow$
自然地保全	適宜		$\Rightarrow$
雨水貯留、浸透施設		t水不全等 D改善	継続
下水道事業による浸水対策	適宜		<b>\</b>
土地利用(立地適正化計画、災害 危険区域指定等)	適宜		$\Rightarrow$
高台整備、二線堤、住居移転など の住まい方の工夫	検討実施	の判断実施	世 

#### 田んぼダムの活用

- ・田んぼ890 ha(作付面積)
- ・生産調整が図られる中、今後についても作付面積の維持を行い、 周知及び取組みを推進する。

#### 減災対策協議会における「取組方針」(美瑛町)

項目	取組予定	
	取組内容	
マイタイムラインの作成の促進	・美瑛町防災ガイドブックを活用し、マイタイムラインの作成を促進し、防災意識の向上を図る	
確実な避難行動の実施 (要配慮者利用施設)	・避難確保計画をもとに、施設職員及び要配慮者が確実に安全な避難行動ができるよう、普及啓発活動を行う	
ハザードマップの利用促進	・町内会等で防災講座を開催することにより、ハザードマップの利用促進を図る	
防災教育の徹底	・全町民対象の防災教室や町内の小中学校等 への防災研修会を実施する	
ハザードマップ対象外地区の対応	・全町民対象の防災教室等を通して、ハザードマップ対象外地区の町民に対しても、普及啓発活動を行い、防災意識の向上を図る	